



女声合唱団コーロ・カンタービレ 代表

品田 美恵子

SHINADA MIEKO

1951年 柏崎市出身

1996年 女声合唱団コーロ・カンタービレ発足

今年7月、2年ぶりに市文化会館アルフォーレで演奏会を行う、女声合唱団コーロ・カンタービレ。美しい歌声とハーモニーが響き渡る今年のステージを楽しみにしている方も多い。

コーロ・カンタービレを率いる代表の品田さんが、初めて合唱と出合ったのは中学生の時。常盤高校合唱部の演奏会を聴いて感動し高校に入学すると憧れの合唱部に入部した。日々の練習は譜読みの連続。背後から聞こえる先輩の歌声を頼りに何度も練習し必死についていった。当時80名ほどの合唱部が奏でる重厚な響きとハーモニーに魅了されたという。県大会、関東大会にも進み、興奮冷めやらぬ帰りの電車ではいつしか「はるかな友に」を大合唱。「周囲の迷惑も考えずに歌っていた光景は今も忘れられない」と振り返る。

高校卒業後は新潟市で2年間の学生生活。そこでも合唱部に所属し、オペレッタを上演したり新潟市内の学生合唱祭に参加したりした。合唱祭では初めて指揮を経験。自分の指揮で部員が歌う姿に感激し、皆で作りにあげていく合唱に益々魅了され夢中になった。

また、学校外では宗教曲を主に歌う混声合唱団にも所属。合唱が大好きな仲間と多く知り合い、お互いの演奏会を聴きに行くなど、今も交流は続いている。

学生生活を終えて柏崎に戻った品田さんは「女声合唱の美しいハーモニーを響かせたい」という一心で、高校時代のOBを中心に「柏崎女声合唱団」を立ち上げた。県の合唱祭やコンクールに積極的に参加したが、当時20代だった若い団員たちの結婚や出産、子育てなどの時期と重なり活動は縮小。そして1996(平成8)年、広く市民を勧誘し団名を改めて再出発、「女声合唱団コーロ・カンタービレ」を発足させた。合唱好きの仲間たちと一緒に県内の合唱セミナーに泊りがけで参加したり、県内外の合唱コンクールや演奏会を聴きに出かけたりと忙しい日々を過ごしたことも大切な思い出。「良い指導者に恵まれ、なにより家族の協力があったから今まで続けることができた」と品田さんは感謝の言葉を口にする。コロナ禍で思うように練習できず苦しい時もあったが、「素敵な曲に出合い、仲間と合唱できる時間は楽しい。少しでも生活に潤いを保ちながらこれからも歌うことを大切にしていきたい」と笑顔を向ける。

「演奏会では合唱の魅力を皆様にお届けできるよう精一杯歌いますので多くの方に聴いていただきたい。バリトン独唱の品田広希さんのゲストステージもぜひ楽しんでください」と話した。



**女声合唱団
コーロ・カンタービレ**

2023.7.22(土) 14:00開演 **入場無料**

会場：柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール

指揮 / 佐藤匠 ゲストステージ
ピアノ / 早津久美子 バリトン / 品田広希 (小千谷市出身)
練習指導 / 中森春香 ピアノ / 和田有加 (小千谷市出身)

お問合せ：☎080-1151-3879 (品田)